

| テーマ |
|--|
| 多文化の目で見つめなおす家族 |
| 目標 |
| ・自分の身のまわりや関心のある事柄について、ある程度まとまった内容を趣旨が通じる程度に表現することができる。(提示) ・自分が想定している範囲内で、学んだ語句や文から選択して、相手の協力が得られればやりとりができる。(対人) ・よく耳にしたり目にしたりする語句や文を理解することができる。(解釈) |
| コミュニケーション能力指標 |
| 【自分と身近な人びと】 1-b. 家族構成(何人家族で誰がいるか)について、会話したり、書いて説明したりできる。 2-a. 家族の職業(会社員、学生など)やペット(名前、種類、飼いはじめた時期など)について、口頭でまたは書いて紹介しあうことができる。 3-f. 家族について簡単に紹介した文を読んで概要を理解したり、それを参考に自分の家族について書いたりできる。 【日常生活】 3-d. 家族内の家事分担や自分の役割について、話しあうことができる。 【食】 2-h. 日本と相手の国それぞれの年中行事で何を食べるかについて、写真などを見せながら口頭で紹介しあうことができる。 【住まい】 1-c. 自分が住んでいる所(自宅か学校の寮か、何階か、一軒家かなど)について、言ったり尋ねたりできる |
| 学習シナリオ |
| 大阪大学では高大連携プロジェクトとしてそれぞれの言語をまなぶ学生・生徒がチームを作り、共通のテーマでそれぞれの言語文化圏について調査、研究し、発表することになった。今年のテーマは「家族」になった。 まず自分たちで、日本の平均的な／典型的な家族とはどんな家族か一家族サイズ(大家族か／何人家族か)、家族の役割(家族で働いているのは誰か／どのような職業に就いているのか／幾らぐらい稼いでいるのか／だれが家事をするのか／誰が部屋を掃除するのか／誰洗濯するのか／食事の用意をするのか)について、自分の知っているロシア語で書いて、話し合う。続いて、“平均的”家族を統計的に定義するのに、どのような要素(変数)を分析に含めたらよいかについて話し合い、平均的な日本とロシアの家族について統計資料を分析・比較し、ロシア語でまとめる。 学期末プロジェクトとして、ペアでそれぞれロシア語圏の国々(旧ソ連諸国)の内一国を選び、平均的な家族について、統計資料を分析・考察し、ポスターセッション発表会でロシア語で発表する。発表会にはロシア語話者も招待し、ロシア語で簡単に意見交換する。発表内容とスライドをホームページでロシア語と日本語で公開する。 |

「外国語学習のめやす」マスター研修2013 課題発表:目標設定・活動・評価
 作成者:大阪大学助教 横井幸子
 3×3+3分析

| テーマ: 多文化の目で家族をみつめなおす | | | |
|----------------------|--|---|--|
| | 言語領域 | 文化領域 | グローバル社会領域 |
| わかる | シナリオ中の該当する箇所 (A-1/A2との対応を記入) <ul style="list-style-type: none"> 日本とロシア語圏の国々における、平均的な家族を統計的に定義するのに必要な変数/要素をロシア語で抽出する ロシア語で書かれた統計資料が読める | シナリオ中の該当する箇所 (D-1/D-2との対応を記入) <ul style="list-style-type: none"> 日本の平均的な家族とロシア語圏の平均的な家族について共通点、相違点について気づく 各国固有の傾向があることに気づく | シナリオ中の該当する箇所 (G-1/G2との対応を記入) <ul style="list-style-type: none"> 高大連携チームでプロジェクトに参加する |
| できる | シナリオ中の該当する箇所 (B-1/B2/B3との対応を記入) <ul style="list-style-type: none"> 各国の平均的な家族について話すことができる 調査結果をまとめて、プレゼンテーションできる。 | シナリオ中の該当する箇所 (E-1/E2/E-3/E-4との対応を記入) <ul style="list-style-type: none"> 相手の文化背景を考慮しながら、共通点・相違点について考察し、言及することができる | シナリオ中の該当する箇所 (H-1/H-2/H-3との対応を記入) <ul style="list-style-type: none"> インターネット等を使って情報収集や文献検索ができる 分析結果を持ち寄り、データを共有する プレゼンテーションソフトを使って、プレゼンテーション用の資料を用意できる |
| つながる | シナリオ中の該当する箇所 <ul style="list-style-type: none"> ロシア語話者に結果を報告し、意見をもらう | シナリオ中の該当する箇所 <ul style="list-style-type: none"> 相手の文化背景を考慮しながら、ロシア語で意見交換できる | シナリオ中の該当する箇所 (A-1/A2との対応を記入) <ul style="list-style-type: none"> データを整理し、多言語でサイトにアップする |
| 三連携 | シナリオ中の該当する箇所 | ・学年、言語を超えた学習コミュニティをつくる | |
| | シナリオ中の該当する箇所 | ・地理、政治経済、歴史、家庭科、保健体育、情報科 | |
| | シナリオ中の該当する箇所 | ・地域の母語話者と交流をもつ。 | |

ワークシート:総括的評価のための活動

| | |
|--|---------|
| グループ番号:G1 | 氏名:横井幸子 |
| テーマ | |
| 多文化の目で家族をみつめなおす | |
| 目標 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・自分の身のまわりや関心のある事柄について、ある程度まとまった内容を趣旨が通じる程度に表現することができる。(提示) ・自分が想定している範囲内で、学んだ語句や文から選択して、相手の協力が得られればやりとりができる。(対人) ・よく耳にしたり目にしたりする語句や文を理解することができる。(解釈) | |
| コミュニケーション能力指標 | |
| <p>【自分と身近な人びと】</p> <p>1-b. 家族構成(何人家族で誰がいるか)について、会話したり、書いて説明したりできる。</p> <p>2-a. 家族の職業(会社員、学生など)やペット(名前、種類、飼いはじめた時期など)について、口頭でまたは書いて紹介しあうことができる。</p> <p>3-f. 家族について簡単に紹介した文を読んで概要を理解したり、それを参考に自分の家族について書いたりできる。</p> <p>【日常生活】</p> <p>3-d. 家族内の家事分担や自分の役割について、話しあうことができる。</p> <p>【食】</p> <p>2-h. 日本と相手の国それぞれの年中行事で何を食べるかについて、写真などを見せながら口頭で紹介しあうことができる。</p> <p>【住まい】</p> <p>1-c. 自分が住んでいる所(自宅か学校の寮か、何階か、一軒家かなど)について、言ったり尋ねたりできる。</p> <p>2-c. 家の周りの環境(近くにある建物、静か／にぎやか、駅から近いなど)について、言ったり尋ねたりできる。</p> | |
| 総括的評価のための活動 | |
| <p>ロシア語内で、ポスターセッションの発表会をする。 留学生なども招待して、(できるだけ)目標言語で意見交換を行う。</p> <p>指示文1: これから、みなさんにロシア語圏の家族について、統計資料等を調査した結果を(ロシア語で)報告してもらいます。統計資料の分析結果に基づいて、その背景・理由など、自分達の考察がよく分かるように発表してください。評価するポイントとしては、発表する時の発音(声調、アクセントなど)、流暢さ(文節や意味の切れ目、スピード)を考慮します。また、内容の構成、とICTの活用(スライドの見やすさ)も心がけてください。</p> <p>指示文2:これから、ネイティブの方々と意見交換をします。質問を受けた時は、適切に答えましょう。さらに、自分の意見も述べましょう。習っている事柄で言えないと思った時でも、様々な手段を工夫して使い、伝える努力をしましょう。分からない単語や表現があっても、質問などをしながら、理解に努めましょう。</p> | |

「外国語学習のめやす」マスター研修2013 課題発表:目標設定・活動・評価

作成者:大阪大学助教 横井幸子

指示文: これから、みなさんにスペイン語圏・中国・ロシア語圏の家族について実際にインタビューし、調査した結果を(各言語で)報告してもらいます。インタビューから得られた結果に基づいて、その背景・理由など、自分達の考察がよく分かるように発表してください。評価するポイントとしては、発表する時の発音(声調、アクセントなど)、流暢さ(文節や意味の切れ目、スピード)を考慮します。また、内容の構成、とICTの活用(スライドの見やすさ)も心がけてください。

| テーマ: 多文化の目で家族を見つめなおす | | グループ番号: G1 | | 氏名: 大森、藤井、横井 |
|----------------------|---|--|---|---|
| 評価基準 | 4 目標以上を達成 | 3 目標を達成 | 2 目標達成まであと少し | 1 目標達成まで努力が必要 |
| 内容の構成x2 | 内容について十分に調査しており、必要なデータも揃えて、情報を論理的に整理しており、さらに独自の知見を提示している。 | 内容について十分に調査しており、必要なデータも揃えて、情報を論理的に提示している。 | 内容についてあまり調査しておらず、必要なデータも揃えているが、情報の論理的な提示が十分でない。 | 内容についての調査が不十分で、必要なデータも揃っていない。また、情報を論理的に提示していない。 |
| ICTの効果的な利用 | ICTを非常に効果的に活用し、発表も非常に分かりやすい。 | ICTのを適切に活用し、効果的な発表につながっている。 | ICTの活用が効果的な発表にあまりつながっていない。 | ICTの活用が効果的な発表につながっていない。 |
| 流暢さ | 文節、意味の切れ目を踏まえて発表しており、スピードも自然で内容も大変聞き取りやすい | 文節、意味の切れ目をほぼ考慮して発表しており、内容も聞き取りやすい。 | 文節、意味の切れ目をあまり考慮しておらず、内容が聞き取りにくい箇所が見受けられる。 | 文節、意味の切れ目を全く考慮しておらず、内容が聞き取りにくい。 |
| 発音 | 個々の子音・母音に留意して発音し、意味が完全に理解できる。 | 個々の子音・母音に留意し、発音しようとしてはいるが、まだ努力の余地がある。意味は問題なく理解できる。 | 個々の子音・母音の発音への留意が不十分で、意味の取り違えを起こす可能性がある。 | 個々の子音・母音の発音に留意しておらず、意味の取り違えを起こしている。 |
| アイコンタクト | 聴いている人とアイコンタクトを常に保ち、メモを見ることは殆どない。 | 聴いている人とアイコンタクトをほぼ保ち、メモを見ることは少ない。 | 聴いている人と時々アイコンタクトをとるのみで、殆どメモに頼っている。 | 聴いている人とアイコンタクト全くとらず、常にメモに頼って話している。 |
| 総合得点 | ／20点満点 | | | |
| コメント | | | | |

ワークシート: ルーブリック

指示文:これから、ネイティブの方々と意見交換をします。質問を受けた時は、適切に答えましょう。さらに、自分の意見も述べましょう。習っている事柄で言えないと思った時でも、様々な手段を工夫して使い、伝える努力をしましょう。分からない単語や表現があっても、質問などをしながら、理解に努めましょう。

| テーマ: 多文化の目で家族を見つめなおす | | グループ番号: G1 | | | 氏名: 大森、藤井、横井 |
|----------------------|--|--|---|---------------------------------------|--------------|
| 評価基準 | 4 目標以上を達成 | 3 目標を達成 | 2 目標達成まであと少し | 1 目標達成まで努力が必要 | |
| 理解度 | ネイティブの助けがなくても、質問を理解して、適切に答えられる。 | ネイティブの助けがあれば、質問を理解して、適切に答えられる。 | ネイティブの助けがあれば、何とか答えようとしている。 | ネイティブの助けがあるにもかかわらず、理解しようとも、答えようともしない。 | |
| 理解される度合い | ネイティブの努力がなくても、大まかに理解してもらえる。 | ネイティブの努力があれば、大まかに理解してもらえる | ネイティブが努力しても、理解してもらえないことが時々ある。 | ネイティブが努力しても、理解してもらえない | |
| コミュニケーション・ストラテジー | 自分の意思が伝えられない場合に、言語・言語外的手段を非常に効果的に用いて、やりとりを成立させている。 | 自分の意思が伝えられない場合に、言語・言語外的手段を上手く用いて、やりとりを成立させようとしている。 | 自分の意思が伝えられない場合に、言語・言語外的手段を用いて、やりとりを成立させようとしているが、効果的に使えていない。 | 自分の意思が伝えられない場合も、言語・言語外的手段を用いていない。 | |
| 総合得点 | ／12点満点 | | | | |
| コメント | | | | | |